

## 中島真志ゼミナール【経済-7クラス】

### 1. 担当教員の紹介 氏名：中島 真志（なかじま まさし）

プロフィール：一橋大学卒業、博士（経済学）。日本銀行（調査統計局、金融研究所、国際局などに勤務）や国際決済銀行（スイスの国際機関）などを経て、現職。

著書：『金融読本』（日本で最も多くの大学で使われている金融論のテキスト）

『入門 企業金融論』（日本の実情に合った企業金融論のテキスト）

『決済システムのすべて』（銀行マンの必読書）

『証券決済システムのすべて』（証券マンの必読書）

社会貢献：金融庁、全銀ネット、東京金融取引所などで審議会の委員等を務める。

金融庁や財務省での研修講師も務める。

担当授業：金融論、企業金融論、経済学基礎演習、金融研究など。

### 2. ゼミの内容 テーマ：「金融論 演習」

【ゼミの狙い】 「金融」に関する見識を深めることを目的とする。また、自ら調べ、発表し、討論することによって、①課題の設定力、②プレゼン力、③ディスカッション力などを身に着けることを目指す。特にプレゼンの指導には力を入れる。

【ゼミの進め方】 1学期は「金融に関するテキスト」を分担して読み進める。

2学期は、金融分野で「自分が興味のあるテーマ」を選び、調べて発表を行う。

【毎回のゼミの進行】 ①発表者がプレゼンを行う（毎回2名）→ ②コメンテーターが質問・コメントをする → ③全員で討議を行う、という形で進める。

【チャレンジ】 インナー大会、3大学ディベート大会、日銀グランプリなどに参加し、他大学との交流ができる（日銀グランプリでは、全国1位の実績あり）。また、全員でFP3級にも挑戦する（ほぼ全員が合格）。4年では、麗澤経済学会の懸賞論文に応募する（過去に多数の入賞者あり）。

【ゼミ参加の条件】 ①「金融論」を履修済みであること（3年での履修も可）

②3年次に「企業金融論」と「FP実務演習」を履修すること

③「日経新聞」を定期購読すること（なお、経営学科も歓迎です）

【担当者からの一言】 このゼミでは、プレゼン力やディスカッション力が見違えるように向上します（多くの先輩で実証済み）。イベント多数（日銀・東証見学、夏合宿、麗陵祭出店、卒論発表会、新歓コンパ、追い出しコンパなど）で充実したゼミ・ライフが送れます。やるべきことはしっかりやるので、就活時に「このゼミでよかった」と思う人が多いようです。しかも楽しいゼミで、一生つきあえる仲間もできます。

#### 【身に付くように意識している汎用的能力】

知的好奇心	◎	他者の立場と痛みを感じる力	○
本質を理解する力	◎	意志や情報を発信する力	◎
論理的に考える力	◎	自ら行動する力	◎
多様性を理解する力	○	自己を受け止める力	○
チームワークよく成し遂げる力	◎	自己反省する力	◎
様々な人と対話する力	◎	自信を生み出す力	◎